



安曇野屋敷林サポーター通信

第37号

発行日/ 2022年3月24日

編集・発行/ 屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

事務局/ 安曇野市商工観光部観光交流促進課 ☎0263-71-2053

URL/ keikan-azumino.net

活動報告 安曇野屋敷林フォーラム2022

2月20日(日)に穂高交流学習センターみらいで開催した「安曇野屋敷林フォーラム2022」。通算12回目のフォーラムで、太田安曇野市長、務台環境副大臣にも臨席をいただき、62名の参加がありました。

基調講演は豊科郷土博物館学芸員の松田貴子さんによる「足元の自然探究が教えてくれる生物多様性」で、長峰山の草原の自然観察の話は印象的でした。パネルディスカッションでは探究学習をテーマに、矢花和成さん(安曇野ふるさと応援団)、窪田尚幸さん(豊科郷土博物館)、百瀬新治さん(岩原の自然と文化を守り育てる会)からそれぞれの活動の紹介がありました。

制約の多い教育スケジュールの中で、総合学習の一環として地域の探究学習を広げていく難しさはありますが、3名の発表を聴くと今年度から取り組んでいる「ふるさと探究安曇野」には将来への可能性を感じます。今後も学校や博物館等と連携して、子どもたちが郷土に関心をもち、屋敷林や素晴らしい安曇野の美しさに気づいてふるさとを活性化してほしいと思うフォーラムでした。

「屋敷林フォーラム」の動画は、後日サイトにて公開予定なので、是非ご覧ください。(場)



活動案内 第30回ふるさとウォッチングin安曇野

感染症拡大で延期となっていた30回目のふるさとウォッチングを、4月17日(日)に豊科・真々部地区で開催します。戦国時代に武田信玄の軍事拠点として築かれた真々部城館と穂高・大町に通じるその軍用道路「武田の棒道」を中心とする城下町・市場町であった真々部(殿村、町通り)は、当時、七寺八小路を擁する安曇野南部の政治・経済・文化の一大中心として繁栄しました。

屋敷林や生垣が残る美しい街並み、蔵や庭園が残る古民家、土塁や濠が残る真々部城館の遺構、網の目状に流れる小堰とそのせせらぎ、由緒ある金龍寺・専念寺と石仏、道祖神・二十三夜様・庚申様・三峯様など路傍に祀られた多くの神々、産土神として鎮座する諏訪神社、人々の病氣治癒の願いを背負い生き仏となった行人様など、真々部ならではの様々な魅力を満喫しながら歩きましょう。尚、感染症対策としてぬかくどおむすびの提供は行いませんので、ご了承ください。(宮)【別紙参照】

活動報告 安曇野あるく路・ふるさとさんぽ

2013年に「ふるさとウォッチング」のリメイク版としてスタートし、屋敷林プロジェクトと安曇野ふるさと応援団の共催で50回以上開催してきた「安曇野さんぽ」。今春より安曇野案内人倶楽部主催の「安曇野あるく路・ふるさとさんぽ」として、リニューアルすることになりました。対象コースを増やすとともに、よりきめ細やかな視点を取り入れ、ふるさと安曇野の素晴らしさを皆で体験できるツアーを目指して行きたいと思います。

第1弾として3月13日(日)に開催した「ふるさとさんぽ・穂高等々力」は、好天にも恵まれ、多くの皆様に参加していただき、早春賦公園、等々力城跡、ニジマスの養殖池、わさび田、道祖神、などを巡り、楽しいひと時を過ごしました。

第2弾は5月15日(日)「熊倉の渡しと千国街道」、第3弾は6月19日(日)「明科・東川手」を予定しています。今後順次コースと回数を増やしていく予定なので、皆様のご参加をお待ちしています。(手)【別紙参照】



ビューポイントあづみの～安曇野屋敷林ギャラリー

季節毎の安曇野の屋敷林を紹介している「安曇野屋敷林ギャラリー」。

今回は水鏡に映る屋敷林と土蔵、常念岳の風景です。

風景投稿サイト「ビューポイントあづみの」
<http://viewpoint.nagapic.jp/>

水鏡の屋敷林 ～ 安曇野市穂高柏原



ビューポイントあづみの

【屋敷林サポーター】

安曇野の屋敷林の保全活用を目的に、2011年度に立ち上げた「屋敷林サポーター」。2018年度の総会で規約を改正し、サポーターの会費は他の活動費と区分し、全額を将来創設予定の基金準備金として積立てています。

2021年度の「屋敷林サポーター」の会員期限は3月末で終了します。新年度に同封する案内を確認の上、引き続き会員継続と活動へのご協力をお願いします。